

イメージしたラインを正確にトレースするために。 スポーティサスペンション&高剛性ボディ。

SUSPENSION

あらゆる状況で、強力なエンジンパワーとフルタイム4WDのポテンシャルを引き出すことを可能とし、ドライバーの意志に寸分の遅れもないシャープな運動性能を実現すること。それが、インプレッサWRXのサスペンションに与えられた命題である。開発のアプローチで特に重視したのは、ボディ剛性をも含めた脚回り全体の高い剛性の実現と十分なホイールストロークの確保、そしてフリクションの低減だ。このためサスペンションの基本システムには、レガシイで高い評価を得た4輪ストラット式を採用。その豊富なノウハウをベースにさらに完成度を高めたほか、ニュルブルクリンクをはじめとする内外のサーキット、アウトバーンやフリーWAYなど世界の道で徹底した走り込みをおこない、基本性能の熟成をはかった。

フロントサスペンション:L型ロアアーム採用のストラット方式。きわめて高い剛性を確保しながら、アルミニウム製ロアアームの採用により、バネ下荷重を軽減。さらに、高速走行時の安定性を向上し、コーナリングフィールを高めるリニアコントロールバルブ付ダンパーも装備。きわめてシャープなハンドリングを実現した。

リヤサスペンション:高い剛性の確保が可能なデュアルリンク・ストラット方式を採用。ストラットとコイルスプリングの配置を最適化し、フリクションを徹底して低減した。さらに、フロント同様リニアコントロールバルブ付ダンパーも装備し、タイヤの接地性を高めながらハイレベルなコーナリング性能を実現している。

ステアリングシステム:オーバーオールギヤレシオ15:1のきわめてクイックなギヤボックスを採用。さらに、ステアリングサポートビームの装備により、ステアリングからタイヤまですべての部分に高い剛性を確保し、シャープな切れ味と確かな手応えを実現した。また、パワーステアリングは、なめらかな操舵感と適切な重さで、つねに安定したステアリングフィールを生み出すエンジン回転数感應型を採用している。

WRXtypeRA:コンペティションユースを想定して、ダンパーの減衰力を強化したほか、硬度を上げた強化ブッシュを採用するなど、WRXtypeRAには、サスペンションの専用チューニングを行っている。

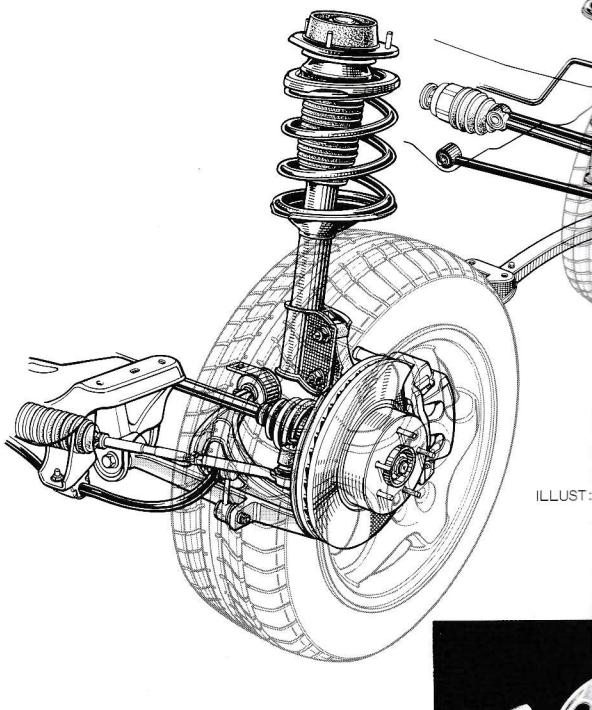


PHOTO:アルミ製フロントロアアーム

BRAKE SYSTEM

制動能力はもちろん、限界時でも十分なコントロール性を備えたブレーキシステムを採用。フロントには24mmのローター厚を持つ、制動有効半径228mmの2ポート・ベンチレーテッドディスク、リヤには制動有効半径230mmのベンチレーテッドディスクを装備した。さらに、7+8インチのタンデム倍力装置も採用するなど、エンジンパワーに対応した十分なストッピングパワーを確保している。

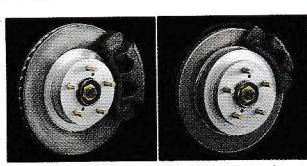
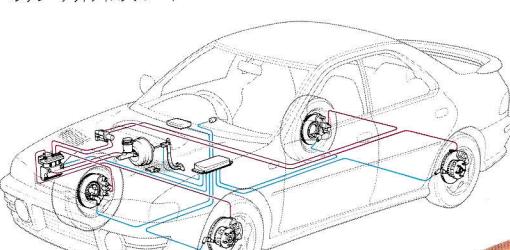
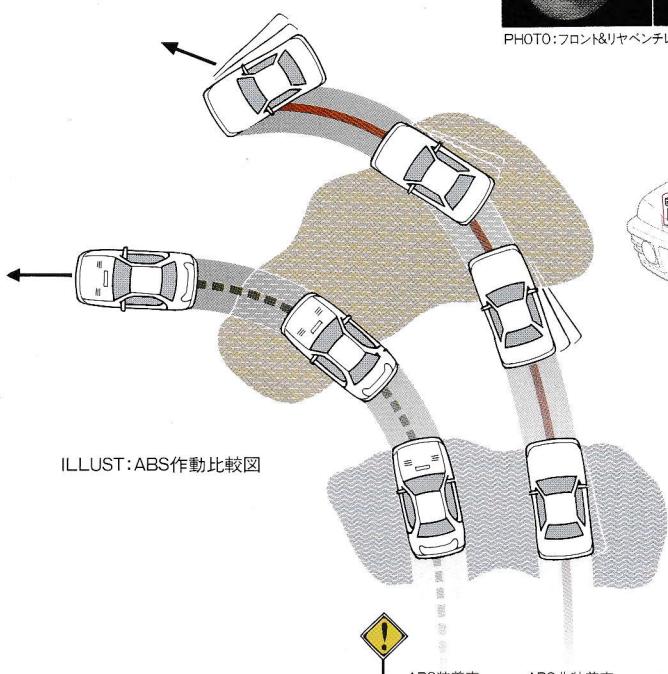


PHOTO:フロント&リヤベンチレーテッドディスクブレーキ

4センサー4チャンネルABS:ABS(4輪アンチロックブレーキ・システム)は、ブレーキング時のスピンやスリップの原因となるホイールロックをセンサーで事前に感知し、ブレーキの油圧をコントロール。急制動時のすぐれた制動安定性と運動中の操縦性を確保し、多様な走行状況で、高いセイフティマージンをもたらす。インプレッサWRXのABSは、4輪に車速センサーを配置し、ブレーキシステムのポテンシャルを最大限に発揮する4センサー4チャンネル方式。ホイールロックの検出を高度化するGセンサーも装備し、4WDシステムとの高い次元でのベストマッチングを実現した。(WRXにメーカー装着オプション)



ILLUST:4センサー4チャンネルABSシステム図(WRX)
■ 油圧系統
■ 電子制御系統

